

## ～保護者の心得～

各務原太鼓保存会は、太鼓好きな子供達が楽しく太鼓を演奏する機会を設けるために発足した会です。会員とその保護者が協力しあうことにより運営しています。

役員は会員又は保護者から選出し、会のために「ボランティア」で尽力いただいています。

皆様におかれましては、役員として従事していただいている方への感謝を忘れず、「各務原太鼓保存会」会員又は会員の親として、社会ルールを守り、他人に迷惑を掛けず、思いやりの気持ちを持ち、子供達のお手本となるべく会の規律を守り、自ら模範となるよう、行動をしていただくことをお願いします。

和太鼓は日本の伝統芸であり、その伝統ある芸事を継承するにあたって、勿論、技術だけではなく「礼節」も重んじています。(日本の古武道にも通じる事だと思います。)子供達にとっては、地域のイベント等に参加することは、家族や身内以外の地域の大人たちと交流する数少ない機会でもあり、指導の中や野外活動の中で礼儀作法の基本・一般常識を身に付けさせ、豊かな人間性を養い健全な精神が育まれるような育成を第一に努めています。各家庭には、色々な考えや教育方針があると思いますが、会の指導方針を十分理解していただき、各務原太鼓保存会の会員として、又、会員の保護者として、活動中は会の方針に合わせるよう努力をして下さい。

また、どうしても仕事や家庭の事情で子供を預ける場合や、お手伝いができない場合もでてくることでしょう。その場合は、平素から自分の手伝える時に手伝いをして下さい。又、常に相手に感謝の気持ちを持って接すれば、特別な事をせずとも周囲に伝わります。そうすれば自然と、自分が困った時に手助けが出てくると思います。お手伝いを「親」の義務としてではなく、和太鼓に一生懸命に取り組んでいる子供達を一番に考え、常識のある行動をして下さい。